

第8回 京都府少年野球連絡会旗争奪大会

京都府少年野球連絡会

特別規則と注意事項

1. ベンチには、メンバー表記載選手(20名)・代表者・監督・コーチ・スコアラーの計25名以内しか入ることは出来ない。
2. 監督・コーチは選手と同一意匠のユニホーム・スパイク・ゴム底運動靴の着用を義務づける。
《監督は30 ・ コーチは28 ・ 29の背番号をつけていること。》
3. 試合当日、監督・コーチが何らかの理由で変更になる場合は、メンバー表の監督の欄に代理と記入し本部に提出すること。
4. 試合回数は7回もしくは試合時間とし、勝敗が決しない場合は特別ルールにて1イニングのみ行い、特別ルールでも勝敗が決しない場合は、抽選にて勝敗を決める。《 但し決勝戦は延長9回まで行う。 》
【 特別ルールは、ワンアウト満塁で、1番バッターからという同一条件とする。 】
5. 試合時間は、1時間20分とする。《 但し決勝戦は除く 》
ただし、1時間20分を超えて新しいイニングには入らない。
6. 3回15点・4回10点・5回7点差がある場合コールドゲームを採用する。《 但し決勝戦は除く 》
7. 球審は、各行政に割振りして行い、塁審のみ各チームより出していただきます。
《 準決勝戦・決勝戦は球審・塁審とも各行政審判にて対応する。 》
8. 球審及び塁審の服装は紺色又は黒色の長袖シャツ・ズボンを着用し、靴も黒色の物を履くこと。
9. 試合開始時間前でも、前の試合が早く終了した場合は直ちに次の試合を開始する。
10. 試合開始時間になっても球場に来ないチームは棄権とする。
11. 日程の都合上、小雨の場合でも球場使用が可能な状態であれば強行する。
12. 暗雲降雨により試合を中断・中止した場合で、5回を終了していれば試合成立として終了する。
但し、それ以外の場合は、ノーゲームとし後日再試合とする。
13. グラウンドルールは、各会場のルールにのっとり行う。(試合前に確認の事)
14. タイムはプレーヤーが要求した時ではなく、審判員が認めた時である。
15. 抗議できる者は、監督、主将か当該プレーヤーのみとする。
《 但し、ルールの適用に誤りがあった時のみ 》
16. どんな方法であろうと、相手チームの選手や審判員に対して悪口・暴言は禁ずる。
17. 15. の内容が悪質な場合は、審判の判断でグラウンド外(退場処分)へ出てもらう。
18. 選手並びに応援団の行動については当該チームが一切その責任を負うこと。
19. 本大会では、不慮の事故及び障害等の責任は一切負いません。
20. 雷鳴が発生した場合は、球審の指示により直ちに試合を中止し避難する。
21. その他競技規則は、2017年公認野球規則及び全日本軟式野球の内規を適用する。